

事務事業名		生活支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり				担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課	
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり				担当係	障がい福祉係	担当課長名	青村裕子		
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進				新規事業・継続事業		継続事業			
	基本事業	2 日常生活支援の充実				実施計画事業・一般事業		一般事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4107	一般	3	1	2	生活支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		国県補助事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成18年度～年度		根拠法令 条例等	障害者総合支援法、佐野市視覚障がい者生活訓練等事業実施要綱		実施方法		全面委託	
	事業区分		事業分類		その他直接サービス提供事業		リーディングプロジェクト		該当なし		
	市長マニフェスト		該当なし								

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
生活支援事業として次の2事業を実施。 ①佐野市視覚障害者鳩の会に、音声パソコン講習会、中途失明者生活訓練事業(歩行訓練・点字等)を委託。 ②社会福祉法人とちのみ会に、発達障がい児者本人支援事業を委託し、社会生活技能訓練(SST)等を実施。			事業概要と同じ。 生活訓練等事業 190千円、発達障がい児本人支援事業 50千円を支出。							
			活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			視覚障がい者参加者数	人	13	13	15	15	15	
発達障がい児事業利用者数	人	33	35	45	50	55				
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
視覚障がい者、発達障がい児。			対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
			視覚障がい者数	人	304	311				
			児童発達支援、放課後等デイ利用者数	人	215	273	231	245	260	
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①視覚障がい者 ・パソコンやインターネット・メールの操作ができる。 ・点字の読み書きができる。 ・白杖を使い歩ける。 ②発達障がい児			成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			参加者数/視覚障がい者数	%	4	4	4	4	4	
			発達障がい児事業利用者数/児童発達支援、放課後等デイ利用者数	%	13	13	16	17	18	
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
自立した日常生活が送れる。			上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
			介護給付及び障がい児通所給付利用者数	人	1,339	1,504	1,500	1,550	1,600	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円		392	329	303	303	303	
	県支出金	千円		196	164	151	151	151	
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円		202	197	236	236	236	
	事業費計(A)	千円		790	690	690	690	690	
	事業費の内訳		千円						
	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	
	事業委託料	790	事業委託料	690	事業委託料	690	事業委託料	690	
人件費	千円								
正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1		
のべ業務時間	時間		40	40	40	40	40		
人件費計(B)	千円		156	158	158	158	158		
トータルコスト(A)+(B)	千円		946	848	848	848	848		

事務事業名	生活支援事業	担当部	子ども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	社会参加促進事業の一環として開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年10月から障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業として難聴者を対象とした事業を開始。平成22年度からは自立支援協議会の提案に基づき、発達障がい児者を対象とした。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	難聴者以外にも、発達障がい児者を対象とした事業を実施するよう保護者等から要望を頂いていた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(成果向上の見直し)	参加者の声を取り入れた情報発信やチラシの工夫、関係機関と協力した声かけ等を行うことにより、支援が必要な方の参加を促した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 視覚障がい者が、パソコンや点字、白杖が使えるようになること、発達障がい児者を支援する事業は、社会参加をし易い環境にすることと結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
有効性 評価	委ねている	理由・改善案 自立と社会参加を目指す視覚障がい者に対して、視覚障がい者団体に事業を委託。発達障がい児者を対象とした事業は、社会福祉法人に委託して実施。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 自立と社会参加を目指す障がい者に対して、事業を実施することは、対象意図とも適っている。
効率性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 広報やホームページ等を効果的に活用することより、支援が必要な方の参加をさらに拡大することができる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
公平性 評価	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	
	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
総合 評価	削減の余地はない	理由・改善案 必要最低限の委託経費で実施しているため、事業費の削減余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
総合 評価	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 受益者負担の適正と判断される。
	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
自立の推進を図る事業であり、終了は考えられない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
・情報発信やチラシの工夫、関係機関と協力した声かけなどを行うことで、支援が必要な方の参加を増加を図る。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			